

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	コベルプラス武蔵中原教室	公表日	2026年 3月 1日
------	--------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・ 条例に定められた基準を遵守し、運営を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・ 条例に定められた基準を遵守し、運営を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・ 部屋ごとに動物の絵を飾り、お子様が療育を受ける場所が分かりやすくなるように配慮されています。 ・ 使用しない教材はお子様に見えないように倉庫に入れたり、カーテンを活用して視界に入らないようにしたりしています。	・ 支援施設が入っているビルの内部構造上、空調や扉の開閉に不便さを感じたため、本部へ共有して対応法を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・ 毎日終業前に清掃活動を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・ 当日のお子様の様子に合わせて部屋を変更したり、日頃のお子様の様子に合わせて部屋を決めたりするなどの配慮をしています。 ・ 個別療育や集団療育のニーズに合わせて教室配置を考慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・ 指導員間で共有する時間を多く設けており、公休等で不在だった指導員にも共有を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ 年に一度事業所評価を行い、いただいたご意見を参考に業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ 職員間でのコミュニケーションを意識し、業務についての悩みなどはその都度解決することが出来るように話し合いの機会を設けています。 ・ 意見が伝えやすい環境となるように配慮しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・ 本部によってさまざまな研修が行われており、定期的に参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・ アセスメントの内容や保護者様のご意向、レッスン時のご様子を踏まえた上で計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・ 原案作成後に会議を開き、職員全体の意見を踏まえて支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・ 定期的にカンファレンスを実施し、十分に情報共有を行った上で支援をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・ 本部で定められたアセスメントツールの使用に加え、レッスン時の行動を観察することで把握しております。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・お子供の支援に必要な項目を適切に設定し、保護者様にも説明を行った上で「家族支援」「移行支援」においては様々な機関や職種と連携を図っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・本部で立案されたプログラムをお子様に合わせて提供できるように、職員間で内容の精査や工夫をしております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月に一回教材の入替を行っており、様々な教材を使用することが出来るようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別、集団利用それぞれのご利用者様に合わせた計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・異動したばかりの指導員に対してもお子供たちの様子をしっかりと伝えることが出来るように配慮されています。 ・療育の前には職員間で打ち合わせを行い、情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・お子供のご利用が多数のときには実施が難しい場合もありますが、事前に前回の療育を担当した指導員から共有を受けて対応させていただいております。 ・ケア記録は口頭だけでなくアプリを活用して共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・次の担当者にわかるよう、使用した教材や枚数・個数、お子供の反応等の引継ぎ事項を必ず記録しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・計画更新の際に必ずモニタリングを行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・管理者が代表として参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・ご希望を頂いた際には保育園や幼稚園に訪問して情報共有を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・保護者様や園の先生方からのご希望により、幼稚園や保育園に訪問し、関係機関と連携をとっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・小学校に向けた情報共有シートを作成し、共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		・定期的に事業所連絡会に参加し、療育センター（児童発達支援センター）の方との情報共有を行っています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			7		・当事業所の療育内容として実施が難しく機会を設けておりませんが、保護者様からのご要望があった際には検討してまいりたいと思います。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・そのときのお子様の課題や気になる部分をすぐに共有することが出来るように毎回の療育で記録用紙をご用意しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・面談(家族支援加算等)の実施や療育後のフィードバックの時間に対応について情報提供をさせていただいています。 ・コミュニティでは、子どもトーク&大人トークという課題を実施し、お子様や保護者様の好きなところや良いところを共有し合うことが出来るように対応させていただきました。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に必ず説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・計画作成後には別室にて計画のご説明をしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・計画作成後には保護者様へ説明を行い、同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・教室や指導員の雰囲気の良いものとなるように努めているため、保護者様からはお気軽に悩み事などをご相談いただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・保護者会としては取り組んでいませんが、集団療育の際に保護者様同士で交流をすることが出来るようお声がけをしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・フィードバック等で頂いたご意見等に関しましては、全職員に周知し、次回療育時には対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・月1でおたよりを発行し、インスタグラムでも情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報の含まれるものは鍵付き書庫に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・必要に応じて写真や絵カードを使用しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		・防犯や個人情報の観点から実施が難しいと思われませんが、本部へ共有して対応方法を検討して参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・今回保護者様からの認知が低かったため、周知することが出来るように説明の機会等をより設けていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年二回以上の避難訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・フェイスシートにご記入いただいております。 ・アセスメント時に再度確認を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・食事の提供は行っていませんが、保護者様と食物アレルギーについては情報共有を行っており、小麦粘土ではなくお米粘土などを私用しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・項目に応じて点検を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・避難訓練の際にお伝えしております。また、教室内に避難経路を掲示しております。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットにあたる事案が発生した場合は全職員に共有するとともに本部に報告しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・法人内外の研修に参加しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・契約時に必ず説明を行い、同意を得ております。	